

心のスイッチ



丹波市立柏原中学校
生活指導通信

No. 十八

令和五年十月二十日
(文責 足立 進)

自分の役割に責任を持てる人へ

今年度の半分の日数が過ぎたところで、学級役員の改選がありました。

クラスの中に「お客さんの存在」は一人もいないはずですから、それぞれの役員や係の仕事に責任を持てる人であってほしいと思っています。

三年生の学年集会の中で、前期委員長会のメンバーから退任の挨拶がありました。その中で、彼らの多くが、共通して使っていた言葉が二つありました。

・責任を持つことで成長することができた
・皆さんの支えや協力が嬉しかったので

これからは支えや協力ができる人になる

① 責任を持つことから「できる」という自信へ
班やクラスという小さな集団の中で、人の前に立つて緊張する経験をしたり、責任を持つたりすることにより、人は成長していくことができるのだと思っています。

常に責任を持つことや緊張することから逃げていると、いつまでも「できる」という自信が芽生えてきません。自分が引き受けた後期の役員や係に責任を持つことから、自分を鍛えてほしいと思っています。

② 支えをもらったら今度は支える側へ
体育祭のブロックリーダーたちも、体育祭を終えた時に、委員長会のメンバーと同じことを言っていました。

責任ある立場に立った時、自分に従ってくれたり、協力してくれたり、一緒に頑張ってくれたりする「仲間」の存在のありがたさに、気がついたからだと思います。

そして「今度は自分が支える側に回ろう」と思ったのだと思います。

「自分がしてほしいことをしてくれただけ分、今度は周囲の人がしてほしいと思っていることをする」という態度は、人として当たり前に行きできないかならぬことですが、あなたはできていますでしょうか？

③ 文化祭の取り組みの中でも

いよいよ来週から、文化祭の取り組みが本格的に始まります。

三年生では先々週、クラス演劇の役割を決めました。現在の三年生の良いところの一つに、「行事に大変意欲的で、誰もが自分の役割に責任を持って取り組むことができているところ」があります。役者になった生徒も、裏方になった生徒も、既に「責任を持って良いものを作っていくぞ」という意気込みをうかがわせてくれていることを大変嬉しく思っています。

こんな言葉があります。

一日に少なくとも一つは自分の力にあまる事を成し遂げようとしないう限り、どんな人間でも大した成功は期待できない。

(エルバート・ハバード)

文化祭の取り組みの中で、無難にできることをやるだけでなく、「できるだろうか？」と不安になったり、ドキドキしたりすることに挑戦して、自信をつけてほしいと思っています。

④ 陰でコソコソしているのが「柏中フライド」

文化祭の特別時間割りが始まると、職員もその活動の中に入ってしまうので、どうしても職員目の届かないところで活動する生徒が出てきます。近年の柏原中学校では、そんな生徒だけになった場面でも、いい加減な取り組みをしたり、コソコソと陰で怠けていたりということが一件もないことを嬉しく思っています。

「先生に見られているかいないか」ではなく、「クラスの一員として責任をいかに果たすか」を大事に活動してほしいと思っています。

⑤ クラス合唱にも責任を持つ

コロナ禍であったため、この三年間は、合唱コンクールが途絶えていました。つまり、一年生から三年生の誰もが中学校の合唱コンクールを経験していません。

そんな「見たことがない、見せてもらったことがないもの」を、自分たちの自覚と責任で作りに上げて行くというのが、今年の生徒会執行部が掲げているテーマです。

「文化祭でも！」と生徒会執行部は意気込んでいると思いますが、この合唱コンクールを成功させるためには、全校生一人ひとりの高い意識と責任感が必要だと思っています。

合唱は常に同じクラスや同じパートの生徒を信じ、自分の精一杯を出す約束で取り組んでいかないと、良いものにはなりません。

高い意識と責任感を持ってよろしくお願いします。

下校時の服装に関するアンケートから

ご家庭での話し合いが伴うアンケートでしたが、お世話になりありがとうございました。

十六日の締め切り日までに百六十五通のアンケートをご提出いただきました。

アンケートの結果は次の通りです。①～⑤の選択肢を支持された票数を載せておきます。

① 特別措置を廃止し、来年の夏は、もともと

の校則の通り制服を着用して下校する。(0票)

② 今後も暑さが厳しい期間を限定して体操服

・ユニホーム等で下校してもよいとする。(45票)

③ 年間を通して体操服やユニホームで下校して

もよいよう校則を改定していく。(73票)

④ 生徒・職員の話し合いの結果を尊重する。

(43票)

⑤ その他 (4票)

また、強いてご意見を書いていただくことを求めないアンケートであったにもかかわらず、五十一人の方から文章表記によるご意見を頂戴しました。貴重な全てのご意見は、次号で紹介させていただきますとともに、生徒の思いや保護者の方々の考えを大事にしながら、今後の話し合いや検討に臨みたいと思っています。

まずは、アンケートにご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

「校外学習」

これだけは必ず守ってほしいこと

一・二年生は文化祭も楽しみにしていると思いますが、その後にある「校外学習」を楽しみにしている生徒も多いと思っています。

学校を離れ、日頃できない活動を同じ学年の仲間と一緒に、宿泊もすることは、かけがえない経験となるはずですが、

これから、その準備や事前学習に入り、その中で、「校外学習のルール」も決めていくと思いますが、「決まったルールは必ず守る」という約束をお願いします。

普段とは違う生活の中で、浮かれてルールからはみ出したり、宿泊の際に、持つていってはいけない物を、こっそり持つていったりと、身勝手な行動をしていると、そこには大変な危険が伴います。安全面からも「ルールは必ず守る」約束をお願いします。意図的にルールを破った場合は、そのまま校外学習を続けさせることはできません。現地まで保護者にむかえに来ていただくこととなります。「意図的にルールを破る」とは、例えば「スマホ等を持つていく」がそれにあたります。スマホなんかなくても、ルールの範囲内で必ず楽しめずし、楽しめる人であってほしいと願っています。

